普及活動検討会実施報告書

仙台農業改良普及センター 実施月日:令和6年2月2日

実施場所:仙台合同庁舎 1001 会議室

1 検討内容

No	検 討 項 目	
1	令和5年度普及指導活動について	
	「プロジェクト課題の取組状況について」	
	No. 1 農村の維持発展を支える法人経営の体質強化	
	No. 2 土地利用型法人によるえだまめ生産体系の導入定着	
	No.3 次代を担う生産者の育成による梨産地活性化	
	No. 4 水稲乾田直播栽培の技術定着による収量向上	

2 検討委員の構成

検討委員の構成		(単位	立:人)
区 分	人数	区 分	人数
先進的な農業者		生 活 者	1
若手·女性農業者	1	学識経験者	1
市町村	2	マスコミ	
農業関係団体	2	民間企業	

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

	→→ <i>t</i> → <i>t</i>		
検討項目	評価値平均値	評価結果(コメント、評価表の要約)	普及センターとしての対応方向
1 令和 5 年 度普及指導 活動につい て	A委員	・新しい園芸、ソバの加工品など右肩上がりに実績をのばし、法人も手ごたえを感じたのではないでしょうか。・2名若手が入ったとのことですので、数年で辞めさせないようにするためには、先が見える職場にすることです。	・新たに確保した構成員定着のため、就業規則を整備すべく、
No.1 農村の 維持発展を 支える法人 経営の体質 強化		・先が見えるようにするためには、役員がその年だけでなく、この先どのようにしていくか?中期事業計画や今後の取組みで社員に先を見せること、月間作業計画、週間計画など作業計画も同様です。このあたりも切り込めるとよかったかと思います。	
	B委員 4	・生産者では手が回りにくいポイントに適切な指導がされ、実績につながったと思います。 1. 窒素成分の異なる基肥肥料の使い分けによるコスト削減 2. 播種量・砕土率の検討	
	C委員 4	3. 限りある労働力を最大限に生かし、水稲と重ならない新規園芸品の導入・数値目標に対しての実績がかなり上回り、成果が出たと思います。2 名の新たな人員の確保は評価に値します。乾燥調整施設の導入を今後考えるのであれば、10 年以上	況です。地域への働きかけだけでなく、地域外へのアプロー チなども検討が必要だと考えています。
		後を見越して、構成員の若返りが、さらに必要と思います。秋保地区は様々な害獣被害の多い所です。それに見合った作物の選定も、今後考慮する必要があると思われます。	に加え、ほ場には電気柵を設置するなど対策していますが、 完全に防ぐことはできないでいます。獣害の少ない作物など についても情報収集に努めます。
	D委員 3	・困難な課題によく向き合い、組合からの信頼を得らえるようになったことは、喜ばしい。 ・ここで、プロジェクトとしては、一区切りとなるが、引き続き支援を続ける必要があると思う。	後も継続して支援して参ります。
	E委員 5	・水稲・そばについては、猛暑の影響で反収が低かったようだが、大豆については収量が増加し、全体的に見て成果が出たものと考える。排水対策等や適期管理作業、鳥獣被害対策等を実施することによる、品質及び収益向上に期待する。また、新規園芸品目生産の取組も積極的に行われているようで、担い手の確保に繋がる取組として評価できる。	ており、今後も支援して参ります。
	F委員 5	・生産組合の課題を良く捉えており、課題克服に向けた目標設定も良かったと思う。 ・一応の課題期間終了のことではあるが、来年度に乾燥調製施設の導入も検討されていることから、今後も引き続	
	G委員 4	きご支援をお願いできればと思います。 ・新たに構成員2名を雇用するようですが、安定的な雇用 になるよう労働環境整備に努められたい。また、乾燥調 製施設導入とのことだが、農業生産組織の運営について は、農業政策により大きく左右されるので、水張ルール の5年要件なども含めた検討も必要となってくると思	JA仙台の担当課と連携して作業をすすめています。 ・農業施策の変化に伴う課題に対しても継続して支援して参り ます。
N. O. L. 14h 411	平均点 4.3	われる。生産技術支援については、基準年よりも高位に 増収されているところが評価できる。	
No.2 土地利 用型法人に よるえだま め生産体系 の導入定着	A 安貝 5	・大型法人が枝豆を取り組むことで、作業分散、大豆以外の収益の可能性を見出すことができた成果は大きいと思います。排水対策の重要性を法人が理解でき収量が右肩上がりであがったこと、法人との信頼関係もできていったのを感じました。 ・農事組合法人では、意外と稲作は個人プレーですが、枝豆を取り組むことで皆で作業をしてチーム力の向上、社	いく上で、他の土地利用型法人などでも共通の課題となり得ることから、今回の対象者の取り組みをモデルとして、成果

担う生産者 5 の育成による製作りに若手や新規就農者を取り込めたことは大変大きいと思います。 とは大変大きいと思います。				
18支2 本外の学の出版のでは、担信の観点とよどもで、おか				
		B委員		
の表面 の表面を必要を受け、一般ではまた。また。また。また。また。 ののでは、また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。ま				
日本日			ます。また、法人間で作付けが重ならない体系づくり、	
対しての主意を実体のとしながありましたが、で変数形を中端をとも過ぎまたがあり、場合で書の機能においてとないません。				
要求、主のに対対技術の項目にいかした意思が相談が必要が さとがいませた。程度の現在的を、供給の多なが必要が 表していくを確かあると思います。 日本員 日本員 は無常が出して、経版が依備により、実施しており、 具なたると思くとなりで、自然では対したとなり。 またしたことなりで、自然人が開催した。 「日本日 に				
		4		
でおり、これらの何度性素や規格への適合性なども構まえながら、数種の書を推進を辿っていきます。				
□ 李信				
□ 日本の主義を持ちたている。 □ 日本の主義を持ち、中央では、技術対象により形の影響がからかったこと。 □ 知等が開かままり、全事では、中国を全の呼吸が重めた。 □ からとったとうので、地域がからな産時状の分数、速度 ・ 大クジュールのお存れなど、各は人々目が感じたの地域を ・ が出することで、他が人のデジルとして事態できる。 □ が受け、 一般を実践が高さらいた。 この結果、2世人とも変なるの生態 大に同けて変異が高まっており、運動化が重んでいる点ができる。 大に同けて変異が高まっており、運動化が重んでいる点がするという。 本の集みが得るよびいる。 この結果、2世人とも変なるの生態 大に同けて変異が高まっており、運動化が重んでいる点がするという。 本の集みが得るにいる。 この結果、2世人とも変なるの生態 大に同けて変異が高まっており、運動化が重んでいる点がするという。 大学を含むて変更 他はは返謝いたした。 本の集みが得るにいる。 プロジェクトは完了とのことを含め、大学したった。 大学を持ち、実践の発展が関係されている。 プロジェクトは完了とのことが表現います。 とだが、今後もご変を が出た返却のことが表現います。 とは、今後もごを受けて決した場合。 というなままりに関する。 というなまました場合。 というなままりに関する。 というなまました場合。 というなままりに関する。 というなままり、一般では、今後の主ななを対域とし、同様の事なの音にしていまり、 できる。 というなまました。 全様できないいかと思います。 対象がは関すとなるというなままり、 ですが、ままり、 であると思います。 対象がは関すとなるというなままり、 ですが、ままり、 であると思います。 ままでは、 である。 人間の事なを対して変化を表現のまた。 というなままり、 です。 ままり、 であると思います。 ままり、 であると思います。 ままり、 であると思います。 ままり、 であると思います。 ままり、 であると思います。 ままり、 であると思います。 より、 手術であると思います。 ままり、 であると思います。 ままり、 であると思います。 ままります。 ままります。 ままります。 これでは、 清報は下のいては、 情報が下のないとなが、 ままります。 ままります。 ままります。 まましてを含めました。 ままります。 まながると思りまなまました。 これでは、 海球によっないまります。 まながとないまります。 まながしていないます。 まながしていまり、 生まります。 まながとないます。 まなが、 現場は同かないます。 まながとないます。 まなが、 現場が下ののよれにないないます。 まながとないます。 まなが、 現場が下ののままがでいまが、 まながとないます。 まなが、 まながとないます。 まなが、 は様が下ののままがでのまれにないます。 まながとないます。 まながとないます。 まながとないます。 まながとないます。 まながとないます。 まながとないます。 まながとないまないます。 まながとないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな			慮していく必要があると思います。	ながら、技術の普及推進を図っていきます。
□ 表現		D委員	・目標設定に対して、適切な活動により、実証しており、	
### 2000 2000 2000 2000 2000 2000 2000				
##1.上回つた。今後、スマー・資業を2の3単効果は特別				
またるとのことなので、地域内の支援を対して通信をある。 まながおきましく同じ、収集・品質として運信できる。 ・ 地域が対きましく同じ、収集・品質として運信できる。 ・ 地域が対きましく同じ、収集・品質として運信できる。 ・ 地域が対きましく同じ、収集・品質として運信できる。 ・ 本のでは、生物では、生物でが進みといるが、生物では、自然では、生物では、生物では、生物である。 この結果、2 出人としななる生産に大いでは、1 名 3 とかった。 この結果、2 出人としななる生産に大いでは、2 合作ら年度でジロジェクト評値としての活剤は終了となりままる。 つかによりに対象です。 このは、2 年間 6 もの からから、人性情間様の拡大したは、2 年間 6 もの からから、人性情間様の拡大したにいる。 第 代を力 6 年のでは、大いでは、2 年のでは、2 年間の人が利はにならないでしている。 このため、2 年のでは、2 年間 6 もの からがら、2 年のでは、2 年のでは、2 年間 6 年の 2 年の		5		
# 子参良				
□ 重要的				
日本の				
「会委員 1年目で産漁協会会とでより、産進化が進んでいる点ができません。 今年度に排水対策が確実に活かされ、構成につながり生かった。 6本 3年度でプロジェクト課題トしての活動は終了となりまままままままままままままままままままままままままままままままままままま		F委員	・栽培技術も著しく向上し、収量・品質とも申し分ない結	
□ 会員		5		
日委員 今年度は排水材積が譲載に添わされ、規化につなかり生。 今和5年度でプロジェクト課題としての活動は終了とかりまた。 空意歌の角にもつながっている。天に大年度の作情 初もらかからりかったりを加えた実践が関係である。 すが、さらな石面間は大が下定され、変更の発展が場別をしました。 4.8 とだが、今後もご支達・協力はおいしたい。 3.3 次代を A 委員				
# 素定数の向上にもつながっている。更に条甲度の作作面 機も6hs から9hn へと作作価権の拡大も見込まれ及談 の規葉が顕著に表れている。プロジュクトは完了とので とだが、今後のご支援・協力は認明いたしたい。 ※ 3 本の全の立ち上げの正労庁は大変であったかと思います。 過去を増生したが、今後のご支援・協力は認明いたしたい。 ※ 4 本の全の立ち上げの正労庁は大変とあったかと思います。 とは大変大きいと思います。 ・ 1 のイヤーなど割しは対策を抱や、地胆、防鈴の関権を対してまいります。 とは大変大きいと思います。 ・ 1 のイヤーなど割しは対策を抱や、地胆、防鈴の関権を対してまいります。 ・ 2 は、会の経緯のために、目立できる体制へり、役員な と一部の人が負担にならない全員を避り込めた。 ・ 2 でおると工夫もされた点も感じられました。今後は、会の経緯のために、目できる体験分のり、後員な と一部の人が負担にならない全員を避り込めた。 ・ 2 でおるとこれを主めない全身にないます。 ・ 2 でおるとこれを表もない全員を避めからた。目のでは、分表のでは、対策相向上の方がったと思います。 ・ 2 でおるとといったとないます。 ・ 2 でおるといいます。 ・ 2 でおる、有量のとないます。 ・ 2 でおると思います。 ・ 2 でおると思います。 ・ 2 であると思います。 ・ 3 の間違は夏の者さてした。発症地の信性化でつなかったと思います。 ・ 2 の間違は夏の者さてした。発症地の活性化をプロジェクト ト無確に位すると思いました。ただ、今年の単産地の一部の問題は夏の者さてした。発症地の活性化をプロジェクト ・ 2 により、悪性全体に解析は実体を関係してまいります。 変しています。 ・ 2 に対すであてかれます。 3 の間と夏の大をよと思います。 ・ 2 に利時の関係による機能の変更と思います。 ます。また。利時の関係による機能の変更と思います。 また。利時の関係による機能の変更と思います。 また。利時の関係による機能の変更と思いました。 ・ 3 を行ってまいります。また。素を必要と があると思います。 ・ 2 に対す者が中の確保ともかせて、支援してまいります。また。素をの主菌を を行ってまいります。また。素をの主菌をないます。 との数値を見とたっても、とないまた。 との数値を対していては、情報はを各種様を含など においき様を対していては、情報は多を保護を含など においき様を対していては、対すでは、発表が関と返すの者ではいる。 ・ 3 に、一様を表がの出来をの意思にないます。 ・ 3 に対する、その反面、対しによっていたいと ところです、利用可な会ではいます。 ・ 3 に対する、その反面、対性のあるのといる の活用弦ととなりままりまた。 をとも引きぬき実験がに関するがに対す、 の活用弦ととなりまりまります。 の活用弦ととなりままりまた。 をも引きなを実験がに関するがに対するがによいります。 の活用弦とに取り起れなど、第会内の情報と有も図りながら枝 をも引きなを実験がに関するがより、実践を の活用弦ととなりままりまた。 をも引きなとなる変数がに関するがに関するがに対するがに対するがに対するがに対するがに対するがに対するが、実践を の活用弦ととなりまりまりまます。 の活用弦となりままりまます。 の活用弦となど、第合体のではいれては、対する の活用弦となど、第合体のではいれては、対する の活用弦となど、第合体のではいれては、対する の活用弦となど、第合体のではいれては、対する の活用弦となど、第合体のではいれては、対する に、一体を見いなと、対するといいまでないまでないないないに対する の活用弦となど、第合体のではいれてはいいまないではいれてはいまないではいまないではいまないではいまないではいまないではいれてはいまないではいれてはいれてはいれてはいれてはいまないではいれてはいまないではいまないではいれてはいまないではいれてはいまないではいれてはいれてはいれてはいれてはいれてはいれてはいまないではいないではいれてはいれてはいれてはいれてはいれてはいまないではいれてはいれてはいれてはいれてはいまないではいれてはいれてはいまないではいれてはいれてはいれてはいれてはいれてはいないないにはいないないではいれてはいれてはいれてはいないないではいれてはいれてはいれてはいれてはいれてはいれてはいれてはいれてはいれてはいれて		0 禾豆		. 今和に左座でプロジーカー細暦ししゃのばもはゆっしょりよ
平均点				
中均点				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
4、8 と元が、今後も三支援・協力はお願いいたしたい。 ・		平均点		
ま、無家は個人ごとで認定でもあるので、こうした者さんが集まる場件りに若手や新規就農者を取り込めたことは大変大きいと思います。		4.8		
			・新しい会の立ち上げのご苦労は大変であったかと思いま	・産地協議会の設立を契機とし、国補助事業の活用に取り組む予
生化化化 といったと思います。				定です。若手生産者を含む産地全体で生産力向上の取組が促進
世化 ・ ワイヤーなど新しい技術提供や、施肥、助族の開催を別ないます。全のでは、今後も会員全体への情報であるとしまります。				されるよう支援してまいります。
### (中子のたど工夫もされた点も感じられました。今後				・味息ワイヤーなどの新技術については、今後も今員会体への棲
は、会の継続のために、自立できる体制のくり、役員な など一部の入が負担にならない全員参加型のルールなど 作れるといいかと思います。	1±16			
世一部の人が負担にならない全員参加型のルールなど 作れるといいかと思います。			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
お残削しにつながったと思います。対象者は若手4人ですが、結果として適地全体の活性化につながったとものます。対象者に若手4人ですが、結果として適地全体の活性化につながったとも感じています。 であ、結果として適地全体の活性化につながったとも感じています。 が鳥ワイヤーなど、高齢化した農業者への技術促進には、時鳥ワイヤーなど、高齢化した農業者への技術促進には、早間に値すると思いました。ただ、今年の製産地の一番の問題は夏の暑さでした。製産地の活性化をプロジェクト課題にするのであれば、今後、の温暖化に合わせた、早い時期からの、教技術、新品機の導入が必要と思われます。また、利府の開発による農地の減少も考える必要があるとともに、国権の事が必要と思われます。また、利府の開発による農地の減少も考える必要があるとともに、国権の事があるとともに、国権の事があるとともに、国権の事があるとともに、国権の事があるとともに、国権の事があるとともに、国権の事がと変と思われます。また、利府の開発による農地の減少も考える必要があるとともに、国権の事が必要と思われます。 1年日で産地協議会を設立するなど、順調に進んでいる。この調子で2年日、3年日も頑張って欲しいでは、常金自に情報機能し、積極的に取り組んでほしい、利所現は需要があるととを会員がさらに認識し、刺激しあうことにより、生産への意欲も増すと思われるので、ネットワークの強化と期待する。 利府地区の製出非常に人気があり、品薄状態となっております。その反面、梨生産農家の高齢化が進み栽培面積は縮小しており、消費者からの要望に応えられていないところです。利利可後場でも要求の課題と捉えております。 1年を企業と関係といるで表したが、対策を関係機関と連携を図りながら技術力の出しなど、第会内の情報共有も図りながら技術力の由し支援に取り組んでまいります。 1年の主に、対策研修を多の限備を通じて、技術研鑽の場づくりに努めを実別していただければと思います。 1年の大阪・東生度は国補助事業の活用を進めるに、天敵製力・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・				
本 が技術向上につながったと思います。対象者は若手4人ですが、結果として産地全体の活性化につながったとも認いでいます。			作れるといいかと思います。	
ですが、結果として産地全体の活性化につながったとも 感じています。 C 委員 3		B委員		
展しています。		4		
C委員 ・訪鳥ワイヤーなど、高齢化した農業者への技術促進には 評価に値すると思いました。ただ、今年の梨産地の一番 の問題は夏の暑さでした。梨産地の活性化をプロジェクト 課題にするのであれば、今後この温暖化に合わせた、早い時期からの、新技術、新品種の導入が必要と思われます。また、利府の開発による農地の減少も考える必要 があると思われます。また、利府の開発による農地の減少も考える必要 があると思われます。 1年目で産地協議会を設立するなど、順調に進んでいる。この調子で2年日、3年目も頑張って欲しい。 一般の調査は常要があることを会員がさらに認識し、刺激し 一般の異な情報を持たついても支援してまいります。また、梨産地としての農地維持については、利府町と連携し、地域おこし協力 「際などの新たな担い手の確保とあわせて、支援してまいります。。 また、梨産地としての農地維持についても支援してまいります。また、乳産地としての農地維持については、利府町と連携し、地域おこし協力 「家などの新たな担い手の確保とあわせて、支援してまいります。 また、東音の生産者を中心としたネットワークの強化に期待する。 利府製は需要があることを会員がさらに認識し、刺激し 一方の声は常変があることを会員がおらに認識し、刺激し 一方の事は常変があることを会員がおらに認識し、刺激し 一方の事は常変があるに対したがからを等の開催を通じて、技術研鑚の場づりに努めてまいります。 「おけいこところです。利府町役場でも喫緊の課題と捉えておりますので、関係機関の連携を図りながら、産地の生産力向した。日前、R6年度は開助事業の活用を進めるほか、天敵製剤 「本の声に対しなど、部会内の情報共有も図りながら技術力の向上支援に取り組んでまいります。 「とこの活用など変わってきていると思われる。まれ、視察研修等を通じ、施肥設計の数とを表すって、関係機関の連携を図りたがら、産地の生産力向いた。 「本の向上支援に取り組んでまいります。 「東側の一方の方に、大阪製剤 「本の向上支援に取り組んでまいります。 「東側の一方の方に、大阪製剤 「本の向上支援に取り組んでまいります。 「東側の一方の方に、大阪製剤 「本の向上支援に取り組んでまいります。 「本の向上大阪製剤 「本の内型 「本の内型 「本の内型 「本の内型 「本の内型 「本の内型 「本の内型 「本の内型 「本のの高のの内型 「本の内型 「本の用型				の底上けにつなかるよう引き続き活動を行ってまいります。
評価に値すると思いました。ただ、今年の製産地の一番 の問題は复の傷きでした。 製産地の活性化をプロジェクト課題にするのであれば、今後との温度化に合わせた、早い時期からの、新技術、新品種の導入が必要と思われます。また、利府の開発による農地の減少も考える必要 があると思われます。 1年目で産地協議会を設立するなど、順調に進んでいる。この調子で2年目、3年目も頑張って欲しい。 新技術、者の社技術等、取組み成果があったものについては、第合員に情報提供し、積極的に取り組んでほしい。 利府報は需要があることを会員がさらに認識し、刺激しあうことにより、生産への意欲も増すと思われるので、ネットワークの強化に期待する。 1 利府町区の製は非常に入気があり、品薄状態となっております。その反面、製生産農家の高齢化が進み栽培面積 ります。その反面、製生産農家の高齢化が進み栽培面積 ります。その反面、製生産農家の高齢化が進み栽培面積 ります。その反面、製生産農家の高齢化が進み栽培面積 ります。その反面、製生産農家の高齢化が進み栽培面積 ります。その反面、製生産農家の高齢化が進み栽培面積 ります。ので、関係機関の連携を図りより実効性のある取り組みを実現していただければと思います。 1 温暖化の影響で過去の技術や各品種の養生期間など変わってきていると思われる。それらも含めたフォローが必要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計のな要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計のな要と思われる。また、視察が修等を通じ、施肥設計のな要と思われる。また、視察が修等を通じ、施肥設計のな要と思われる。また、視察が修等を通じ、施肥設計のな要と思われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤーへの切り替えなどにチャレンジし成果も得られたことも評価できる。 1 多の高温や凍電者など気象変動に関する対応策については、試験研究機関とも連携しながら適切な情報発信に努めるとともに、国補助事業等の活用により海水装置などの設備導入についても支援してまいります。 2 の高温や凍電者など気象変動に関する対応策研究とも変変動に関する対応策研究を表している大変を表していまを接出しないら適切な情報発信に努めるとともに、国補助事業等の活用により海水装置などの設備導入については、試験研究機関と連携を図りながら違いが表しまれて、1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		C委員		防島ワイヤーなどの省力技術の導入については、引き続き支援
ト課題にするのであれば、今後この温暖化に合わせた、早い時期からの、新技術、新品種の導入が必要と思われます。また、利府の開発による農地の減少も考える必要があると思われます。 D委員 4 の調子で2年目、3年目も頑張って欲しい。 この調子で2年目、3年目も頑張って欲しい。 ・ 教技術・省力化技術等、取組み成果があったものについては、10年間できる。 利府製は需要があることを会員がさらに認識し、刺激しあうことにより、生産への意欲も増すと思われるので、ネットワークの強化に期待する。 ・ 利府地区の梨は非常に人気があり、品薄状態となっております。その反面、梨生産農家の高齢化が進み栽培面積は縮小しており、消費者からの要望に応えられていないところです。利府可役場でも喫緊の課題と捉えておりますので、関係機関の連携を図りより実効性のある取り組みを実現していただければと思います。 ・ 資産していたでは、12年の高級も増立を関していたがよりますので、関係機関の連携を図りよりま分とという。 ・ 通際化の影響で過去の技術や各品種の養生期間など変わってまいります。 ・ 今後も引き続き関係機関と連携を図りながら、産地の生産力の活用拡大に取り組むなど、部会内の情報共有も図りながら技術力の向上支援に取り組んでまいります。 ・ 方の高温や凍霜害など気象変動に関する対応策については、試験研究機関とも連携を図りながら適切な情報発信に努めるとともに、国補助事業の活用により海水装置などの設備導入についる。 第級研修等を通じ、施肥設計の改善等等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につな事等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につな事等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につな事等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につな事等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につな事等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につな事等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につな事等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につな事等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につな事等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につな事等が必要などの設備導入についても支援してまいります。 ・ 次の高温や凍霜をなど気象変動に関する対応策については、試験研究機関と主機としないの通常人ないのも対応を表しない。 でも支援してまいります。 ・ 変の高温や凍霜を対応を関わるとともに、国補助事業等の活用により海水装置などの設備導入についても支援してまいります。 ・ 変の高温や凍漏を対しないまっない。 第級研究機関とも連携を図りながら、産地の利益を表します。 では関しないるのは関わる表します。 ・ 変の高温や凍漏を変しないる では、 国補助事業等の活用により海水装置などの設備導入についても支援してまいります。 ・ 表に関値できる。 ・ 新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流がある。 ・ 本年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりま				
早い時期からの、新技術、新品種の導入が必要と思われます。また、利所の開発による農地の減少も考える必要があると思われます。 D委員 4 E委員 ・ 1年目で産地協議会を設立するなど、順調に進んでいる。この調子で2年目、3年目も頑張って欲しい。 E委員 ・ 新技術・省力化技術等、取組み成果があったものについては、常報を含した。			の問題は夏の暑さでした。梨産地の活性化をプロジェク	対応策については、試験研究機関とも連携しながら適切な情報
ます。また、利府の開発による農地の減少も考える必要があると思われます。 D委員 4 E委員 - 1年目で産地協議会を設立するなど、順調に進んでいる。この調子で2年目、3年目も頑張って欲しい。				
かあると思われます。 があると思われます。				
□ → 1年目で産地協議会を設立するなど、順調に進んでいる。 この調子で2年目、3年目も頑張って欲しい。				
 ・ 高大子・2年目、3年目も頑張って欲しい。 ・ 新技術・省力化技術等、取組み成果があったものについては、情報はや各種研修会などには、部会員に情報提供し、積極的に取り組んでほしい。利所梨は需要があることを会員がさらに認識し、刺激しあうことにより、生産への意欲も増すと思われるので、ネットワークの強化に期待する。 ・ 利府地区の梨は非常に人気があり、品薄状態となっております。その反面、梨生産農家の高齢化が進み栽培面積は縮小しており、消費者からの要望に応えられていないところです。利府町役場でも喫緊の課題と捉えておりますので、関係機関の連携を図りより実効性のある取り組みを実現していただければと思います。 G委員 ・ 温暖化の影響で過去の技術や各品種の養生期間など変わってきていると思われる。それらも含めたフォローが必要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改善等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につながったもの思われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤーへの切り替えなどにチャレンジし成果も得られたことも評価できる。 No. 4 水稲蔵 A委員 ・新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流が・来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりままのは、新技術を省力技術の成果については、情報誌や各種研修会などにおいて情報発信を行ってまいります。また、おけいと考えでありにおいて情報発信を行ってまいります。また、おけいとのである時間を通じて、技術研鑽の場づくりに努めてまいります。 ・ 夏の高温や凍霜害など気象変動に関する対応策については、試験研究機関とも連携しながら適切な情報発信に努めるとともに、国補助事業等の活用により潅水装置などの設備導入についても支援してまいります。 ・ 東中度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりまます。 			かめると思われます。	隊などの新たな担い手の帷保とあわせて、文援してよいりよす。
 ・ 高大子・2年目、3年目も頑張って欲しい。 ・ 新技術・省力化技術等、取組み成果があったものについては、情報はや各種研修会などには、部会員に情報提供し、積極的に取り組んでほしい。利所梨は需要があることを会員がさらに認識し、刺激しあうことにより、生産への意欲も増すと思われるので、ネットワークの強化に期待する。 ・ 利府地区の梨は非常に人気があり、品薄状態となっております。その反面、梨生産農家の高齢化が進み栽培面積は縮小しており、消費者からの要望に応えられていないところです。利府町役場でも喫緊の課題と捉えておりますので、関係機関の連携を図りより実効性のある取り組みを実現していただければと思います。 G委員 ・ 温暖化の影響で過去の技術や各品種の養生期間など変わってきていると思われる。それらも含めたフォローが必要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改善等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につながったもの思われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤーへの切り替えなどにチャレンジし成果も得られたことも評価できる。 No. 4 水稲蔵 A委員 ・新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流が・来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりままのは、新技術を省力技術の成果については、情報誌や各種研修会などにおいて情報発信を行ってまいります。また、おけいと考えでありにおいて情報発信を行ってまいります。また、おけいとのである時間を通じて、技術研鑽の場づくりに努めてまいります。 ・ 夏の高温や凍霜害など気象変動に関する対応策については、試験研究機関とも連携しながら適切な情報発信に努めるとともに、国補助事業等の活用により潅水装置などの設備導入についても支援してまいります。 ・ 東中度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりまます。 		D委員	・1年目で産地協議会を設立するなど、順調に進んでいる。	
では、部会員に情報提供し、積極的に取り組んでほしい。 利府梨は需要があることを会員がさらに認識し、刺激し あうことにより、生産への意欲も増すと思われるので、ネットワークの強化に期待する。 ・ 利府地区の梨は非常に人気があり、品薄状態となってお ります。その反面、梨生産農家の高齢化が進み栽培面積 は縮小しており、消費者からの要望に応えられていないところです。利府町役場でも喫緊の課題と捉えておりますので、関係機関の連携を図りより実効性のある取り組みを実現していただければと思います。 ・ 温暖化の影響で過去の技術や各品種の養生期間など変わってきていると思われる。それらも含めたフォローが必要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改善等等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につながったもの思われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤ 4・3 ・ 新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流が ・ 来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりま ・ 来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりま ・ 来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりま				
利府梨は需要があることを会員がさらに認識し、刺激しあうことにより、生産への意欲も増すと思われるので、ネットワークの強化に期待する。 ・利府地区の梨は非常に人気があり、品薄状態となっております。その反面、梨生産農家の高齢化が進み栽培面積は縮小しており、消費者からの要望に応えられていないところです。利府町役場でも喫緊の課題と捉えておりますので、関係機関の連携を図りより実効性のある取り組みを実現していただければと思います。 ・温暖化の影響で過去の技術や各品種の養生期間など変わってきていると思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改善等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につなが、方を後見とも連携しながら適切な情報発信に努めるととも要出われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤーへの切り替えなどにチャレンジし成果も得られたことも評価できる。 ・新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流が・来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えております。 ・来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりま		E委員	・新技術・省力化技術等、取組み成果があったものについ	・新技術や省力技術の成果については、情報誌や各種研修会など
あうことにより、生産への意欲も増すと思われるので、ネットワークの強化に期待する。		5		
マットワークの強化に期待する。 ・利府地区の梨は非常に人気があり、品薄状態となっております。その反面、梨生産農家の高齢化が進み栽培面積は縮小しており、消費者からの要望に応えられていないところです。利府町役場でも喫緊の課題と捉えておりますので、関係機関の連携を図りより実効性のある取り組みを実現していただければと思います。 ・温暖化の影響で過去の技術や各品種の養生期間など変わってきていると思われる。それらも含めたフォローが必要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改善等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につなずったもの思われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤーへの切り替えなどにチャレンジし成果も得られたことも評価できる。 No. 4 水稲乾 A委員 ・新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流が・来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりま				
 F委員 5 利府地区の梨は非常に人気があり、品薄状態となっております。その反面、梨生産農家の高齢化が進み栽培面積は縮小しており、消費者からの要望に応えられていないところです。利府町役場でも喫緊の課題と捉えておりますので、関係機関の連携を図りより実効性のある取り組みを実現していただければと思います。 G委員 ・温暖化の影響で過去の技術や各品種の養生期間など変わってきていると思われる。それらも含めたフォローが必要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改善等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につな事等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につな事等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につなったもの思われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤーへの切り替えなどにチャレンジし成果も得られたことも評価できる。 No.4 水稲乾 A委員 ・新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流が・来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりま 				
5 ります。その反面、梨生産農家の高齢化が進み栽培面積は縮小しており、消費者からの要望に応えられていないところです。利府町役場でも喫緊の課題と捉えておりますので、関係機関の連携を図りより実効性のある取り組みを実現していただければと思います。 「G委員・温暖化の影響で過去の技術や各品種の養生期間など変わってきていると思われる。それらも含めたフォローが必要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改善等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につなで、対ったもの思われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤイ・のの切り替えなどにチャレンジし成果も得られたことも評価できる。 「No. 4 水稲乾」 A委員 ・新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流が・来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりま		F 委員		
は縮小しており、消費者からの要望に応えられていないところです。利府町役場でも喫緊の課題と捉えておりますので、関係機関の連携を図りより実効性のある取り組みを実現していただければと思います。 ・温暖化の影響で過去の技術や各品種の養生期間など変わってきていると思われる。それらも含めたフォローが必要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改善等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につない。 おったもの思われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤーへの切り替えなどにチャレンジし成果も得られたことも評価できる。 No. 4 水稲乾 A委員 ・新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流が・来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりま				
すので、関係機関の連携を図りより実効性のある取り組みを実現していただければと思います。 - 温暖化の影響で過去の技術や各品種の養生期間など変わってきていると思われる。それらも含めたフォローが必要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改善等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につながったもの思われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤイ・ルーへの切り替えなどにチャレンジし成果も得られたことも評価できる。 - 下の、本稲乾 A委員 - 新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流が・来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えております。				の活用拡大に取り組むなど、部会内の情報共有も図りながら技
□ おを実現していただければと思います。 □ ・温暖化の影響で過去の技術や各品種の養生期間など変わってきていると思われる。それらも含めたフォローが必要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改善等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につながったもの思われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤーへの切り替えなどにチャレンジし成果も得られたことも評価できる。 □ No. 4 水稲乾 A委員 ・新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流が・来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりま				
□ ・温暖化の影響で過去の技術や各品種の養生期間など変わってきていると思われる。それらも含めたフォローが必要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改善等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につながったもの思われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤーへの切り替えなどにチャレンジし成果も得られたことも評価できる。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				
4 ってきていると思われる。それらも含めたフォローが必要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改善等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につながったもの思われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤイ・1・3 一への切り替えなどにチャレンジし成果も得られたことも評価できる。 No. 4 水稲乾 A委員 ・新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流が・来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりま		C # P		
要と思われる。また、視察研修等を通じ、施肥設計の改善等等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につながったもの思われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤーへの切り替えなどにチャレンジし成果も得られたことも評価できる。 No. 4 水稲乾 A委員 ・新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流が・来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりま				
善等が必要なことも認知され、今後の生産意欲等につな		4		
平均点 がったもの思われる。また、農業分野で初の防鳥ワイヤ				
4.3 一への切り替えなどにチャレンジし成果も得られたことも評価できる。 No.4 水稲乾 A委員 ・新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流が ・来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりま		平均点		
No.4 水稲乾 A委員 ・新しいことに意欲的な人が集まり、会員どおしの交流が ・来年度以降も情報提供など支援を継続したいと考えておりま				
田 旦 播 萩 培 5 できていったことが大きな成果であったと思います。ブ す。今回の活動の中で作成した栽培の手引き等も活用し、普				
	出旦播栽培	5	でさていったことか大さな成果であったと思います。プ	7。今回の沽動の中で作成した栽培の手引き等も沽用し、晋

の技術定着		ランシ カーナード・トファル 辛の品を会加来たける米	ルセンスがみよい J. 用いまよ
		ロジェクトを成功させるには、意欲的な参加者をどう巻	
による収量		き込むかが大事ですが、3年間丁寧に関係づくりが成功	
向上		の要因だと思います。今後は、この実績を広めるための	
		冊子つくり、定期的なセミナーなども継続させてほしい	
	カチロ	です。コース・マストは、アイトト・ケース・ハン・マルト	人从工压如果,一块也相相用,他不够好了一个,不
	B委員	・課題に対して適切な指導が行われ、結果が伴い、産地内	
	4	で共有されるとても良いサイクルが築けたと思います。	おります。
	C委員	・労働時間をあまり考慮しない農業に対しての調査などグ	
	4	ラフ化や、見やすい栽培の手引きなどの活動が良いと思	
		います。雑草の防除など、天候に左右されることも多い	
		中、基本技術の定着は高い評価と思います。活動期間が	
		2年という点が、2回の試作しかないこと、また、砂地	
		の、平地の、わりと雨の被害の少ない農地の成果が、今	れた成果を活かせるよう活動してまいります。
		後活かせるかが課題と思いました。	
	D委員		・黒川地域でも良い栽培事例ができるよう、課題に取り組みた
	5	あった。次年度は、黒川地域の実証となるが、水稲乾田	いと思います。
		直播の普及促進に伝められたい。	
	E委員		・今後も取組者に対して情報提供を継続して行いたいと考えて
	5	着に取組み、移植栽培と同等の収穫ができたことを評価	
		する。また、この取組の成果を他の経営体にも情報共有	
		し、今後の活動により、県内全域への普及の輪が広がる	
		ことを期待する。	
	F委員	・乾田直播の技術を取り入れた農家は年々増加しており、	・今回の活動では勉強会の案内や会場提供等ご協力いただきあ
	5	技術も定着しつつあり、また、生産者間のネットワーク	りがとうございました。予想以上に生産者間での情報交換が
		が形成された点が素晴らしい。	深まり、自立した活動も期待できると思います。今後も乾直
			の普及拡大に努めたいと思います。
	G委員	・今後、リタイヤ農家の受け皿になるのは、大規模担い手	・ほ場条件が悪いという声も黒川地域では聞かれますが、将来
	4	で更なる集約が進むと見込まれる。労働力・コストの面	条件が整った際に新規取組者がスムーズに始められるよう、
		からも当該生産技術が有効と思料するため、早期の技術	来年度から早期に技術確立できるよう支援したいと考えて
		確立をお願いしたい。また、技術指導はもとより、現場	おります。
	平均点	のネットワークによる情報共有の場の提供を実施され	
	4.6	たことにより相互研鑽が図られたことが特に評価でき	
		る。	
	A委員	・所長の「今、動かないと産地がなくなってしまう」この	・ベテラン農家が持っているノウハウの見える化やスマート農
2その他		言葉は今後の農業の課題そのものであり、農業関係者が	業の活用等により、技術等が次世代に継承するような仕組み
		今動かないといけない大事なメッセージだと受け取り	づくりを進めてまいります。
		ました。今のうちにベテラン農家で眠っているノウハウ	
		を見える化して、仕組みとして次世代に継承していかな	
		いと、生産性の悪い農業になってしまうこと大変危惧し	
		ております。	
	B委員	・どれも産地を問題解決に導き、自走する道筋を作るすば	・今後も水稲乾田直播栽培を推進する上で、県認証やみどりの
		らしい取り組みでした。該当組織にとどまらず県内産地	食料システム戦略への取り組みは課題と考えており、行政や
		へ成功事例を発信いただき、各産地での気づき、改善、	関係機関、試験研究と連携を図りながら検討してまいりま
		経営安定につながるようにしていただきたい。水稲乾田	す。
		直播は労働力不足の中、これからさらに重要な位置づけ	
		になりますが、県認証、みどりの食料システム戦略とど	
		う整合性を取るのか。乾田直播の県認証等も検討いただ	
		けたらと思います。	
	C委員	・25 年後には、農家数が 80%減少すると確定しています。	・現状では、法人を中心とした支援をしており、周辺への波及
		日本の食を支える必要があります。家族経営、中規模農	を期待しております。一方で、ご指摘のように農家の経営形
		業者、法人化など大規模農業など、それぞれにあった支	態・規模等にあった支援が必要と思われますので、どの様な
		援が必要と思いました。	手法で効率的な支援ができるか検討してまいります。
	F委員	・水田農業の技術的な部分では、東日本大震災以降西部地	・仙台西部地区においては、排水不良や獣害など困難な問題も
		区は取り残されてしまったような感があります。西部地	ありますが、相応しい技術を模索してまいります。
		区に相応しい新技術があれば普及の検討をお願いした	
		いです。	
		・温暖化・異常気象に対応した技術等の具体的な提案をお	・温暖化は、全ての作物生産に影響を及ぼしていますので、
		願いしたいです。	品種や栽培方法を含め最新の情報を収集して、農業者へ情報
			提供していきたいと思います。
		・私は食べたことが無いのですが、乾田直播の米は「おい	・水稲乾田直播栽培を推進する上で、県認証やみどりの食料シ
		しい!」という話を生産者から聞きました。また、「環境	
		保全米にはならないの?」という声も出ております。中	
		々難しい内容も含まれておりますが、ご検討いただけれ	
		ばと思います。	
	G委員	・農業を取り巻く厳しい環境の改善はいまだ見通せません	
	- 123	が、少しでも生産に意欲をもって取り組めるよう今後も	
		各方面からご支援をお願いします。	
L	1	<u> </u>	